



●今月のテーマ●
赤ちゃんへの語りかけ

赤ちゃんの体の発達に栄養が必要なように、心をはぐくむためには「語りかけ」が必要です。毎日のコミュニケーションにより生まれる「安心感」「信頼感」が心をはぐくみます。今回は赤ちゃんが喜ぶ「語りかけ」のアドバイスです。



アドバイス1
語りかけ

マザリーズ

「マザリーズ」とは、短い言葉を繰り返したり（ワンワン、ブーブーなど）、テンポをゆっくり、優しく高い声で、抑揚をつけて語りかけることです。赤ちゃんはマザリーズを好みます。



アドバイス2
語りかけ

身ぶり・手ぶり

赤ちゃんは大きな身ぶり・手ぶりをするとうれしく喜びます。声と同時に身ぶりを付けて語りかけてみましょう。



アドバイス3
語りかけ

絵本

赤ちゃんはリズムの良い語りかけを好みます。絵本を読み聞かせながら、リズムよく語りかけてみましょう。



アドバイス4
語りかけ

健康

後回しにしてしまいがちな自分自身の健康管理。語りかけの時間を一緒に楽しむためにも、周囲の手を借りて、無理をしないようにしましょう。



まちづくり情報館

地域の活動は、市民自治の出発点。厚別区で行われているまちづくり活動や団体などを紹介します。

もみじ台「地域の茶の間」 ～気軽に立ち寄りください～

もみじ台まちづくり会議では、気軽に集まれる場が欲しいという地域のニーズに応え、「ふれあい」や「ささえあい」のきっかけとなるように「地域の茶の間」を4月から、毎月1回開催しています。

もみじ台地区は、札幌市の中でも特に高齢化が進んでいます。そのため、「地域の茶の間」は住民の交流だけではなく、さ



▲代表の小野正勝さん ▲「地域の茶の間」の様子

さまざまな相談や情報交換ができ、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる憩いや交流の場となることを目指しています。

午前10時から午後3時まで、自由に参加でき、地域のボランティアの方が持ち寄った自家製の漬物などをつまみながら、漬物の作り方や近所の出来事などを話し合ったり、囲碁をしたりと思いの時間を過ごすことができます。

主催の地域の茶の間勉強会の代表をしている小野正勝さん（75歳）は「もっと、気軽に皆さんに利用してもらいたいです。お年寄りだけでなく、若い人や、お子さんにも参加してもらって、世代間交流を図っていきたいですね」と話します。

皆さんも「地域の茶の間」に参加してみませんか？

7月の開催日は7月5日（土） 参加費 200円
詳細については、もみじ台まちづくりセンターまで
☎897-6121